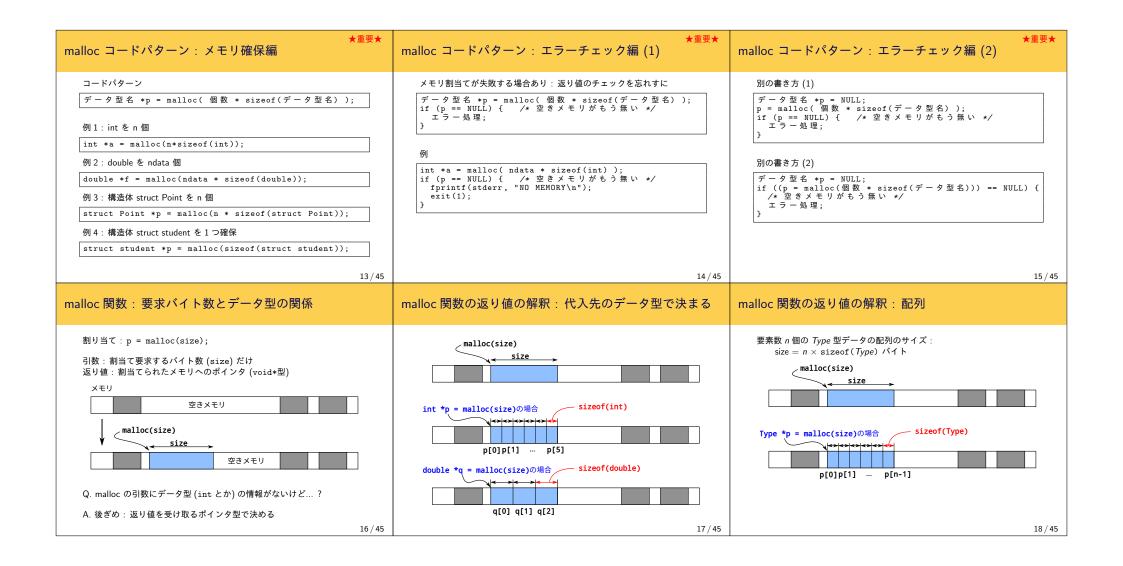
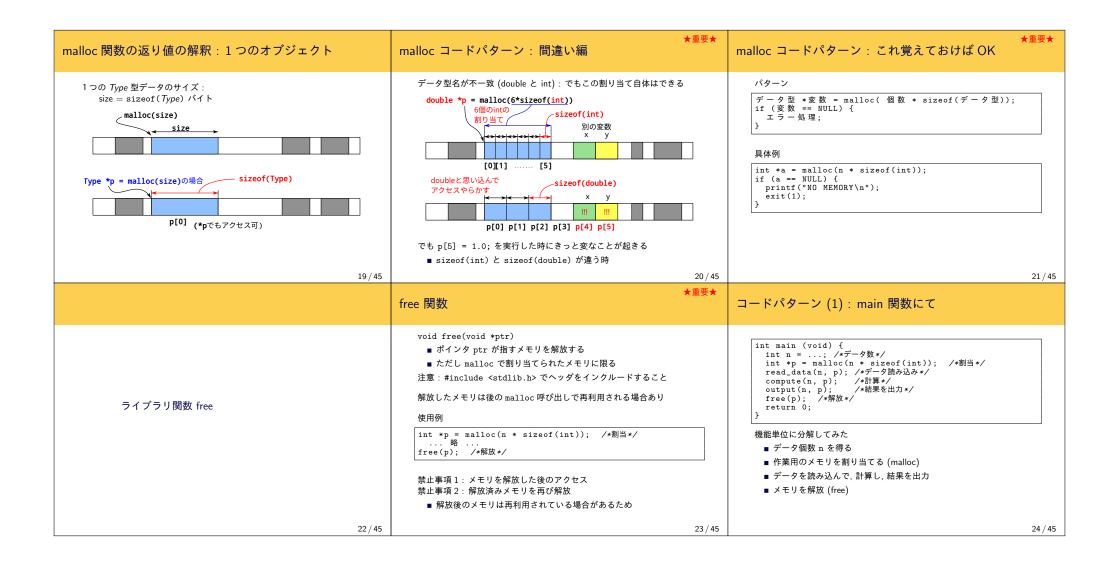
	もくじ	今回 (#11) の内容:シラバスでの該当部分
#11 動的メモリ割当て 2022 年度 / プログラミング及び実習 III 角川裕次 <sup>能谷大学 先端理工学部</sup>	■ (独自) 動的メモリ割当てとは ■ ライブラリ関数 malloc ■ ライブラリ関数 free  ② (独自) プログラム例 ■ Sum and Average ■ 構造体の配列	小テーマ: 動的メモリ割当て 第 18 回: 構造体を利用したプログラミング 第 19 回: 動的メモリ割り当て
1/45	2/45	3/45
重要概念リスト	今回の実習・課題 (manaba へ提出)	
■ メモリの静的割当てと動的割当て ■ malloc 関数によるメモリの動的割当て ■ free 関数によるメモリの解放 ■ メモリリーク	実習内容と課題内容は講義途中に提示します (作成したファイル類は manaba に提出)	(独自) 動的メモリ割当てとは
4/45	5 / 45	6 / 45

★重要★ メモリ割当ての2方式:静的/動的	★重要★ メモリ割り当て:静的/動的の比較	
静的メモリ割当て (これまで): 事前に使用するメモリを決定する方法         『プログラミング時に配列の要素数を決定 (宣言)         『実行時には要素数を変えられない         例: int a[100];         動的メモリ割当て (今回): 実行時にメモリ量を確保する方法         『使用するメモリ量は実行時にきまる         例: 実行時にデータ数をキーボードから入力して配列を確保         動的メモリ割当ての利点         『実際に必要な量のメモリを必要な時だけ使用できる         『メモリの有効利用ができる         今回の内容: malloc 関数と free 関数を紹介	整数配列で何かするコード断片例(データ数 n はキーボードから入力) いずれも配列の要素は d[i] の形でアクセスできる  静的割当: 固定配列  #define MAX_N 10000 int d[MAX_N]; int n = 0; printf("データ数nは?\n"); scanf("%d", &n); if (n > MAX_N) {     printf("データ数大杉\n");     exit(1); } d[i] を使用  事前に多めの要素数で宣言 (n が大きい場合用)  国定配列プログラムを動的メモリ割り当て方式へと変更できますよね 8/45	ライブラリ関数 malloc 9/45
malloc 関数:メモリの割当て	malloc:使用例 1	malloc:使用例 2
void *malloc(size_t size)  ■ size バイト分のメモリを割り当てる  ■ 返り値は割り当てられたメモリへのポインタ  ■ ただしメモリ不足の場合には NULL が返る 例  int n = get_datasize(); int *a = malloc(n * sizeof(int)); if (a == NULL) {   fprintf(stderr, "NO MEMORY\n"); }  ■ 要素数 n の int 配列用のメモリを要求  ■ n は実行時になって決まる (実行ごとでも違う)  malloc の使用に際して必要なヘッダのインクルード #include <stdlib.h></stdlib.h>	割当て (要素数の n の int 配列)  int n = get_datasize(); int *a = malloc(n * sizeof(int));  『データ数を変数 n に得る 『その数ぶんのデータ型 int のメモリを割当て 『n * sizeof(int): 要求するメモリのバイト数の計算式 使用例: 割当後は配列のように使える  a[0] = 0; a[1] = 10;  『確保した要素数に注意 『添字は 0 から (要素数 -1) まで	割当て(配列 x: 要素数 n の構造体 struct xyz_sの配列)  struct xyz_s {    int x, y, z; }; int n = get_datasize(); struct xyz_s *x = malloc(n * sizeof(struct xyz_s));  『データ数を変数 n に得る 『その数ぶんの構造体 struct xyz_s のメモリを割当て 使用例: 割当後はふつうの配列と同様に使える  x[0].x = 0; x[0].y = 1; x[1].z = 2;  @ 確保した要素数までしか使えない
10 / 45	11 / 45	12 / 45





コードパターン (2):繰り返し	★重要 メモリリーク (memory leak) とは	★ メモリリーク (もうひとつ): 関数内ローカルで
for (;;) {     int * p = malloc(n * sizeof(int)); /*割当*/ 配列 pを使った処理;     free(p); /*解放*/ }  処理の繰り返し (int 型データの配列を想定した場合)      int データの個数 n を得る     ボータのメモリサイズは n * sizeof(int) に注意     作業用のメモリを割り当てる (malloc)      実際に処理をする     メモリを解放 (free) して次回の処理へ	for (;;) {     int n =;     int *p = malloc(n * sizeof(int)); /*割当*/     配列 p を 使った 処理; }  ここでやっていること     作業用のメモリを割り当てる     メモリを解放せずに次回の処理を繰り返す  やがてメモリを全て使い果たす     メモリ不足により malloc がメモリ割り当てに失敗     プログラムが強制終了されてしまう  開放されないメモリがどんどん増えてゆく     メモリリークと呼んでいる (パグの一種)	関数 foo 内で局所変数に割当ポインタを代入  int foo(int n) {    int *p = malloc(n * sizeof(int)); /*割当*/    配 列 p を 使った 処理;    return; }  関数から戻るときにメモリリーク発生  このように書きましょう  int foo(int n) {    int *p = malloc(n * sizeof(int)); /*割当*/    配 列 p を 使った 処理;    free(p);    return; }
25	/45 26/	45 27 / 45
Q. これメモリリークしないですか?		
free せずにプログラムを終了 大丈夫?  int main(void) {     int n = 100;     int *p = malloc(n * sizeof(int)); /*割当*/     return 0; }  A. リークしてるけど大丈夫 プログラム終了時に自動的に解放される  ■ そのような仕組みになっているのが普通の OS  ■ よっぽど特殊な OS でない限り     (まだ見たことがありません; ぜひ見てみたい)	(独自) プログラム例	Sum and Average

## Sum and Average: 問題設定 実装の方針 (機能分割の方針) 実行例 n 個の実数値データの総和と平均値を求める ソースファイル名: avr.c \$ ./avr · データ数n:3 要求仕様 データは実数値 データ0の値: 12.4 データ1の値: 11.4 → double 型のデータとする データは実数値 データ2の値: 16.2 ■ データ数 n はキーボードより入力 総和=40.000000 データ数 n はキーボードより入力 平均=13.333333 ■ データを記憶する配列は malloc で動的に割り当てる → 関数 int get\_n(void) で実現 ■ n 個のデータは順次キーボードより入力 ■ データ数は3と入力 データを記憶する配列は動的に割り当てる ■ 総和と平均値を計算して表示 2 3つの実数データを順次入力 → 関数 double \*alloc\_array(int n) で実現 "alloc" ... allocate (割当) の略でつかってます ■ 入力データに対する総和と平均値を計算・表示 プログラム名: avr n個のデータは順次キーボードより入力 → 関数 void read\_data(int n, double \*x) で実現 総和と平均値を計算して表示 → 関数 void compute(int n, double \*x) で実現 31 / 45 32 / 45 33 / 45 実装: 関数 get\_n 実装:ソースファイル全体像 実装: main 関数 #include <stdio h> #include <stdio.h> int get\_n(void) { #include <stdlib.h> #include <stdlib.h> int n = 0;while (n <= 0) { int get\_n(void); int main(void) { char s[1024]: ...下記の関数を順次呼び出す... double \*alloc\_array(int n); printf("データ数n : "); void read\_data(int n, double \*x); if (fgets(s, sizeof(s), stdin) == NULL) { void compute(int n, double \*x); int get\_n(void) { exit(0): ...データ数 n をキーボードより入力 ... int main(void) { n = atoi(s);/\*データ数\*/ int n = 0: double \*alloc\_array(int n) { double \*x = NULL; /\*データ記憶用の配列(動 的 割 当)\*/ . . . データを記憶する配列を動的に割り当てる. . . return n; /\*データ数を得る\*/ n = get\_n(); /\*配列のメモリを確保\*/ void read\_data(int n, double \*x) { ...n個のデータをキーボードより入力... scanf を使わず fgets 使用してみた例 x = alloc\_array(n); /\*データを配列に読み込む\*/ void compute(int n, double \*x) { read\_data(n, x); . . . 総和と平均値を計算して表示. . . /\*計算処理を行う\*/ compute(n, x); return 0; 34 / 45 35 / 45 36 / 45

```
実装:関数 alloc_array
                                                              実装: 関数 read_data
                                                                                                                           実装:関数 compute
                                                                 void read_data(int n, double *x) {
   double *alloc_array(int n) {
                                                                                                                               void compute(int n, double *x) {
     double *x = NULL;
                                                                   for (int i = 0; i < n; i++) {
                                                                                                                                 double sum = 0;
     x = malloc(n * sizeof(double));
                                                                     char s[1024];
                                                                                                                                 double avr = 0;
                                                                     printf("データ%dの値: ", i);
if (fgets(s, sizeof(s), stdin) == NULL) {
    if (x == NULL) {
                                                                                                                                 for (int i = 0; i < n; i++) {
      printf("NO MEMORY\n");
                                                                                                                                  sum = sum + x[i];
      exit(1);
                                                                       exit(0);
                                                                                                                                 avr = sum / n;
                                                                                                                                 printf("総和=%f\n", sum);
    return x;
                                                                     sscanf(s, "%lf", &x[i]);
                                                                                                                                 printf("平均=%f\n", avr);
                                                      37 / 45
                                                                                                                    38 / 45
                                                                                                                                                                                  39 / 45
                                                             個人の情報を表す構造体 struct student
                                                                                                                               構造体 student の n 個ぶんのメモリを割当てる
                                                                 struct student {
                                                                   char name[64]; /*名前*/
                                                                                                                               struct student *p = NULL;
                                                                  int height; /*身長*/float weight; /*体重*/
                                                                                                                               p = malloc(n * sizeof(struct student)); /*割当*/
if (p == NULL) {
                                                                  long schols; /*奨学金*/
                                                                                                                                 fprintf(stderr, "NO MEMOEY\n"); /*メモリ割当て失敗*/
                                                                                                                                 exit(1);
           構造体の配列
                                                                 構造体の回を思い出しましょう...
                                                                                                                               i番目の要素にアクセス
                                                                 任意の人数の情報を取り扱いたい
                                                                                                                               p[i].height = 162;
p[i].weight = 58;
                                                                  ■ 実行時に人数が指定される
                                                                 → この構造体の配列を動的メモリ割当で実現
                                                      40 / 45
                                                                                                                    41 / 45
                                                                                                                                                                                  42 / 45
```

	番外編の課題 1	番外編の課題2
おわり	文字列の配列を連結して1つの文字列にして返す関数の作成  ■ char *concat_str(char **s); ■ 新たな文字列をメモリ確保して作成 ■ 文字列の長さは任意: 事前に最大長は分からない  例 1  【char *sx1[] = { "Hello", " ", "world", NULL };  concat_str(sx1) の結果: "Hello world"  例 2  【char *sx2[] = { "Jugemu", "Jugemu", "Gogouno", NULL };  concat_str(sx2) の結果: "JugemuJugemuGogouno"	メモリの許す限り任意の桁数の整数値を取り扱えるようにしたい (1 万桁でも取り扱い可能にする)。以下の関数を作成せよ。      数を記憶するデータ型 struct bignum を以下の通りとする     struct bignum {         int n; /* 桁数 */         char *d; /* a[i]は10進数表現で第i桁目の数 */     };     typedef struct bignum bn;      数は 10 進数 n 桁で表現し、配列 d の 1 要素で 1 桁を記憶する     bn *bn_new(int v); — 値 v の数オブジェクトの生成。     bn *bn_print(bn *bn1); — 数の表示     bn *bn_add(bn *bn1, bn *bn2);         — 2 つの数を加算した結果を新たな数オブジェクトとして返す     bn *bn_mul(bn *bn1, bn *bn2);         — 2 つの数を乗じた結果を新たな数オブジェクトとして返す     1000 の階乗を計算し表示するプログラムを作成せよ
43 / 45	44 / 45	45 / 45